

食料 農業 農村政策審議会畜産部会
ヒアリング

(有)那須高原今牧場の取組み

加工部門責任者 高橋雄幸

R1.8.21 (水)

会社概要

会社名：有限会社 那須高原 今牧場

住所：栃木県那須郡那須町大字高久甲5898

設立：平成6年8月 法人化

役員：代表取締役 今耕一 他2名

従業員：10人（うち 技能実習生2名（タイ人） パート1名）

酪農教育ファーム認証牧場

地域交流牧場全国連絡会加入牧場

耕地面積：20ha

チーズ工房は「加工部門」として、平成24年4月にオープン。
国の6次産業化の認定を受け、始まる。

**今牧場の歴史は開拓で始まる
昭和22年から**

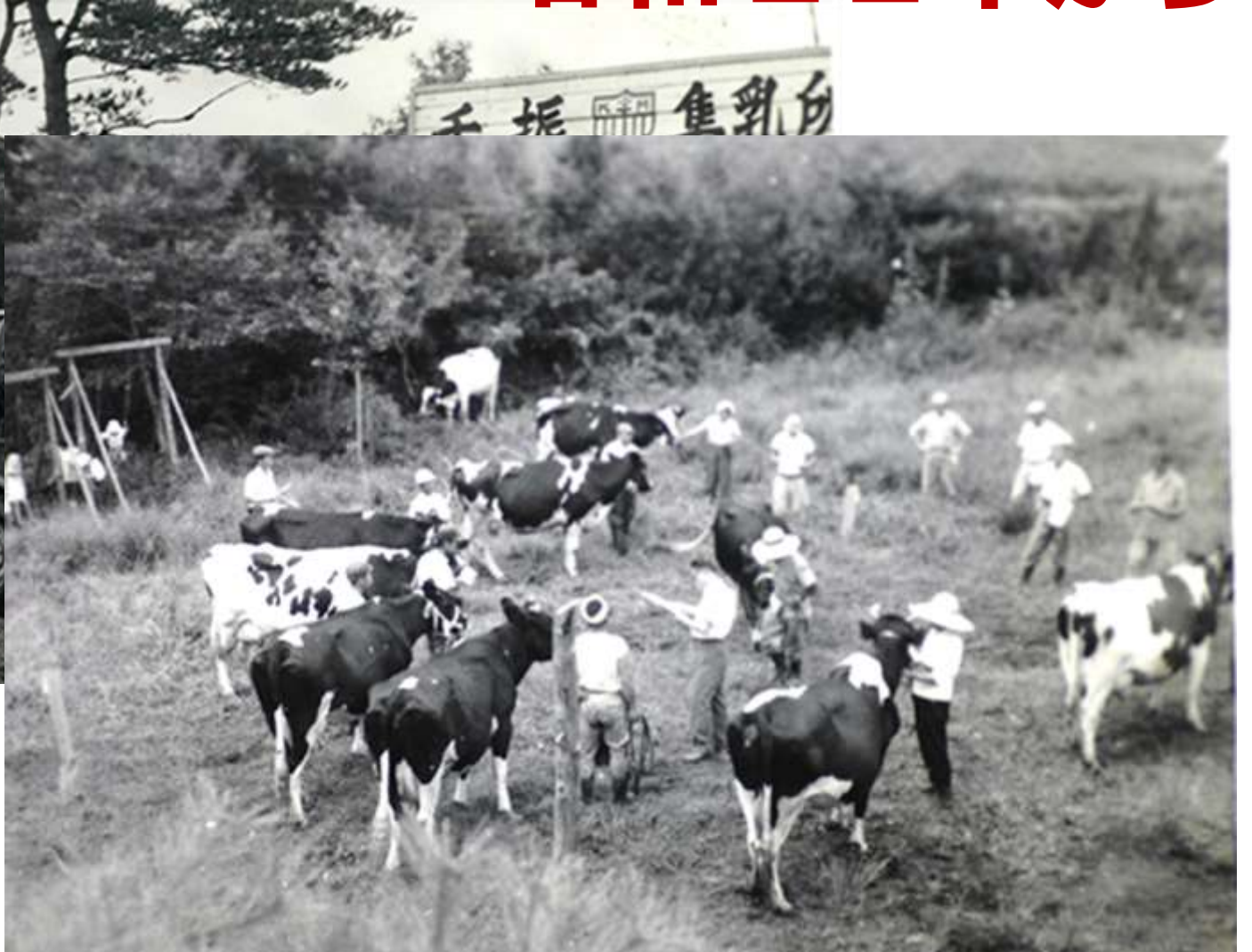
今牧場の歴史は開拓で始まる 昭和22年から



今牧場の歴史は開拓で始まる 昭和22年から



今牧場の歴史は開拓で始まる 昭和22年から



※2019年8月現在
牛

- 経産牛：200頭
- 育成牛：50頭
- 和牛：30頭
- 子牛：30頭

山羊

- 経産山羊：40頭
- 子ヤギ：25頭



☆何でチーズ作り（加工部門）を始めたのか？

- 牛乳の消費低迷長期化からの脱却
- 家族で大切に大切に搾ったミルクに、更に付加価値をつけて経営の安定化を計りたかった

その中でも、山羊チーズを製造し始めたきっかけは何か？

- 差別化を計るため
- 新潟での、山羊チーズの製造経験があった
- 昔から山羊乳は日本人の生活にあり、農村にあり、牛に比べると飼いやすい



牛乳アレルギーのバッチテスト



経産山羊のサシ入り枝肉

国内のチーズ工房業界の現状

- ・ H29年7月の日欧EPA大枠合意で新たな国際化の時代へ突入
- ・ 補給金・奨励金の制度について
- ・ 国内対策 輸出の整備の必要性
- ・ 品質の向上、安定化が課題
- ・ 中小規模のチーズ工房を、「業界」として新たな組織を法人化へ
- ・ 日本のチーズの可能性

全国のチーズ工房数

H22年 約150ヶ所 ⇒ H29年 **306ヶ所**

このうち、山羊チーズ工房は**12ヶ所**

(農水省調べ)

日欧EPAやTPP11など国際化の進展

- 新聞やTVの報道を見ると、不安ばかりが募った
- しかし、早い段階でEPA国内対策（チーズ）が政府から発表された
- これにより、向かい風が50年に一度の追い風変わった



- 「補給金・奨励金、ハード事業、品質向上対策、輸出へのサポート等」
過去に例が無いチーズ対策が打ち出された
- チーズ生産者は、意欲が出てきている